

2010年度

科目名	心理学演習 I A		
担当教員	小西 宏幸		
配当	人社3	コード	25230
開期	前期	講時	火曜日5限
		単位数	2
授業テーマ	心理学研究の一環として、諸外国の情報をいかに理解するかについてのトレーニング、および机上の学問にとどまらない心理学演習とはいかにあるべきかなどを学びます。		
目的と概要	卒業論文作成のために、文献を検索する必要があります。心理学の研究論文や単行本における英語の特徴を演習形式で学習します。		
成績評価法	提出物(レポートなど複数回)の評価(60%) + 授業中の質疑応答の質量(40%) 提出物の出来具合や授業中の質疑応答などから評価します。とにかく努力している姿、および積極性・主体性を評価対象にします。		
テキスト			
参考書	丹野義彦・下山晴彦 「講座・臨床心理学」東大出版会 ダンカン他 「治療不能事例の心理療法」 金剛出版 フィッシュ他 「難治例のブリーフセラピー」 金子書房等、重要文献や推薦図書などは、必要に応じて紹介します。		
履修に当たっての注意・助言	この科目は、講義(レクチャー)ではなく演習です。大変かもしれませんが、能動的な学習態度を身につけてください。昨年度とは異なり、地域研究実習で対人援助の現場にでる予定の学生やカウンセリング実習で学外に出向く学生が受講生に多い場合、文献購読の時間を減らし、ロールプレイやディスカッションなどの演習作業を増やす予定です。		
講義計画			
<p>初回に、受講生の興味関心をお尋ねした上で、内容を選択していきたいと思います。</p> <p>材料としては、 American Psychologist Journal of Personality Assessment Journal of Personality and Social Psychologyなどに掲載された論文から抜粋する予定です。 それ以外にも単行本の一部を抜粋して利用することもあります。 実習先に出向く学生が多い場合、内容を変更します。</p>			